

19年度定期総会無事終了！！

本年度の市P連定期総会は、平成19年5月23日（水）に高崎ホワイトインで行われました。旧榛名町との合併を経て、75校にまで拡大した高崎市P連の、児童・生徒の健全育成に果たすべき役割が、さらに大きく重くなったことを、会場に並べられた椅子の多さが物語っているかのようでした。会長挨拶・代表校長挨拶・市教育長の祝辞の後、57名の功労者の方々と1団体に対して、平成18年度の功労者表彰が行われました。一言で功労者と言ってしまうと軽い感じがしますが、長年にわたってPTAというボランティア活動にご尽力いただいた方々には、本当に頭が下がります。ありがとうございました。

さらにその後、追加議案を含めて9件の議事がもの見事に何の混乱もなく、全て原案通り可決・承認されていきました。私個人としては、2年前にもものすごく紛糾した総会を目の当たりにしてトラウマになっているので、本当にホッとしました。各校PTA会長様、校長先生、平穩無事な総会をありがとうございました。この議事の中で、県立中央中等教育学校の市P連加盟が正式に承認されました。これで市P連は76校。中央中等中からは早速3つの専門委員会にも代表者の出向を頂いております。同じ目的を目指して一緒に楽しく活動していきましょう、宜しく願い致します。

総会終了後は、恒例の懇親会・情報交換会が、松浦市長、丸山市議会議長を始めとするご来賓の方々をお招きして行われました。ベテランも多く、顔見知りの方も多いのですが、実に精力的な情報交換会でした。仲間の輪が広がって、その関係がより深いものになれば、少々の困難など怖くない。そんな力強さを感じる総会・懇親会でした。

（19年度情報委員長：松沢）

～19年度市P連会長の三村です～

“こころ”のふれあいから創め（はじめ）よう！ この言葉を自身の名刺に刷りました。76校の会長さんとのふれあいを通して30,021名の児童・生徒の保護者の皆さんと同じ親の目線で、色々な物を見つめなおす所から創めて行きたいと思います。時代の流れを素直に受け入れる柔軟な“こころ”と意欲的に物事に取組む冒険の“こころ”を忘れずに、1年間お世話になります。改めましてよろしく申し上げます。

平成19年度 専門委員会全体会議開催

去る5月29日（火）夜7時から、本年度の専門委員会全体会議が、旧榛名町の文化会館エコーンにおいて開催されました。会場の変更が各単Pの会長達に伝えられたのは、わずか6日前だというのに、大した混乱もなく、大勢の出向者の方々が一堂に会することができたことに、感謝すると同時に、なんだかとっても頼もしいものを感じたのはきっと私だけではないはずで

このかわら版では、専門委員会特集号のつもりで、各委員長から今年度の活動方針や、委員会および委員さん方に対する期待を語っていただきます。

研修委員会 (委員長 大河原 賢二・京ヶ島小)

『楽しく、活力あふれる、PTA活動をめざして！』

今年度の研修委員会は「PTAの目的・役割に関する理解を深め、研修を通して親としての資質の向上を図る」という大きな目的の中で、「本部役員としての、また次期PTA会長候補者としての資質の向上を図る」ということと、「次年度以降に繋がるネットワークの構築を図る」という2点を主な目的として進めていきたいと思えます。

手法としては小グループでの活動を基本とし、より活発な意見交換をすることにより、単P間の連携事業の模索や、他の単P事業への参加や協力を繋がるようなネットワークの構築をできればと考えます。また、単P会員向けに、単P本部役員合同特別研修会(9月7日)や子どもの将来を考える研修会(11月9日)を開催します。楽しめて且つ役に立つ研修会にしたいと思っていますので、みなさん是非ご参加をお願いします。

母親委員会 (委員長 高木 喜美恵・並榎中)

最近、なにかと「家庭教育の重要性」が叫ばれておりますが、日々、子どもと格闘している私たち母親にとっては「わかっているけれど、なかなか…」というのが本音ではないでしょうか。市P連の母親委員会は、その「家庭教育」について学ぶ、お母さんたちの集いの場です。講演会を聴いたり、委員さんがグループにわかれ、子育ての喜びや悩みを語ったりと、なごやかな雰囲気です。

今年度は合併に伴い、輪番制だった役員校を廃止し、ブロックごとに2名の役員を互選で決めました。内心、引き受けていただけると心配でしたが、皆さん快く受け取っていただき深く感謝すると同時に、とても心強く感じました。

講演会の予定などは、今後も「かわら版」や「母親タイムス」で、お知らせいたします。母親委員以外の皆様もぜひご参加ください。

情報委員会 (委員長 松沢 斉・塚沢小)

「頑張らない」「欲張らない」「でも手を抜かない」

突然何事かと思われるかも知れませんが、本年度の情報委員会の基本方針を示しています。PTA活動の本分がボランティアである以上、無理を押ししてまでは「頑張らない」。おのずとできる範囲は限定されるのだから、それ以上の成果を「欲張らない」。とは言え、PTAの目的を達成するために行うボランティア活動である以上、やると決めたからには子どもたちのため、そして自分たちのためにも「手を抜かない」。あまり気負わず、委員一人一人が負担に感じない範囲で、ブロック単位の情報交換を重ねながら、かわら版作りの過程を一緒に楽しみながら、PTA会員みなさんに情報発信を行って参ります。

副委員長・編集長・書記の役を引き受けたみなさん、みなさんの潔さに心から感謝します。委員のみなさん、3月の解散式でうまい酒がみんなで飲めるように、積極的な参加をお願い致します。

あっ、そうそう、今年は市P連のホームページが立ち上がります。情報の提供は情報委員会を中心にいきますが、情報を活用するのはみなさんです。ぜひぜひアクセスを！！